

令和4年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(令和3年度事業対象)

令和5年1月

能美市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和 3 年度の取組について、自らその状況を点検し評価を行い、金沢美術工芸大学 桑村 佐和子先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいります。

令和 5 年 1 月

能美市教育委員会

## 目 次

1	事務の点検評価	
	施策1 学校教育の充実	
	1 教職員の資質ならびに授業力の向上	4
	2 豊かな心、確かな学力の向上	6
	3 教育支援の充実	9
	4 コミュニティスクール事業	10
	5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～	12
	6 教育環境の整備充実	14
	施策2 青少年の健全育成	
	1 青少年教育	15
	施策3 生涯学習の推進	
	1 生涯学習活動	16
	2 公民館活動の推進	17
	3 社会教育施設の運営	21
	施策4 芸術・文化の振興	
	1 文化財の保存と活用	25
	2 博物館の活動	27
	3 文化振興	31
	施策5 スポーツの推進	
	1 競技スポーツの充実・強化	32
	2 生涯スポーツの普及・振興	34
	3 スポーツ施設の整備充実	35
2	教育委員会会議及び教育委員の主な活動	
	1 教育委員会会議	37
	2 総合教育会議	41
	3 教育委員の主な活動	41
3	学識経験者の意見	43

## 施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

### 1 教職員の資質ならびに授業力の向上

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇教職員研修事業（426千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、「能美市学びのベーシック事業」研究校を指定し、指定研究校に大学等から外部講師を継続して招へいすることで、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

#### \*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招へい一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座 (ICT活用)	平井聡一郎	文部科学省 ICT活用教育 アドバイザー	8月27日
寺井小	学校研究 (算数)	大谷 実	金沢大学	8月5日 1月5日
辰口中央小	学校研究 (算数・ICT)	村井万寿夫	北陸学院大学	6月15日 8月5日 1月21日
湯野小	学校研究 (算数)	伊藤 伸也	金沢大学	5月26日 9月22日 1月26日

和気小	学校研究 (ICT)	村井万寿夫	北陸学院大学	6月1日 11月11日 11月18日
寺井中	学校研究 (授業づくり)	杉江 修治 平井聡一郎	中京大学 文部科学省 ICT 活用教育 アドバイザー	11月10日 11月24日

## 評価

令和3年度は「GIGA スクール構想元年」が本格スタートし、全国的に教育 ICT 化が加速しました。本市においても ICT 環境整備は概ね完了し、各校での熱心な校内研修会と学校間の積極的な情報交換のもと、1人1台端末を活用した授業実践が進められました。

市主催の夏季教職員研修は「まず使ってみる」の段階から、教科におけるねらい達成のために授業でいかに ICT を効果的に活用するか、確かな学力の定着につながる ICT を活用した授業力の向上をねらいとして実施しました。オンラインでの開催となりましたが、Google の基本アプリケーションを用いた実践型の研修会は、参加者全員が児童生徒の立場となり、授業のイメージを理解しやすく参加者たちにも好評でした。今後も日常の授業改善や教育現場が直面する最新の課題に直結する研修を計画したいと思います。

平成30年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」では、市内5小中学校（算数3校、ICT1校、中学校1校）を研究校に指定し、学校研究の充実を図りました。コロナ禍において、県外からの外部講師を招へいすることが難しく、オンラインで研修を行ったり、感染対策をしながら研究授業や校内研修会を複数回開催することで、学校研究を進めることができました。今年度も県内外での研修会への開催が難しかった中で、外部講師から複数回にわたり継続した指導・助言を受けることができ、各校及び他校からの参加者にとっては大変貴重な機会となりました。各指定校は研修会ごとに学校全体で授業改善の視点を確認し合い、共通の実践につなげています。また、その成果（1年間の研究内容、指導案、ワークシート等）を市内に発信することができました。

## 2 豊かな心、確かな学力の向上

### 令和3年度の主な取組

#### ◇フォローアップスクール事業（951千円）

本市では、児童の主体的な学びの実現に向け、土曜日に補充教室として以下の4点を掲げて、フォローアップスクール事業を展開しています。

- ・自ら学び、解決しようとする学習スタイルの確立
- ・児童の学習に向かう意欲の喚起
- ・地域の方との学びを通して育む社会性と人間性
- ・豊かな経験を持つ地域人材の活用

平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し算数科を中心として取り組んでいます。算数科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。さらに、平成28年度より学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

また、平成30年度には参加状況や講師補充等の関係で、会場を見直し6会場から5会場に変更しました。令和元年度から「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに、学びの基本的な姿を共有し、一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに取り組みました。どの会場でも講師のきめ細やかな見守りの中で、一人ひとりの主体的な学びを進めることができました。令和2年、3年度には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から回数が少し減りましたが、感染症対策に努めながら実施しています。

#### 【よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条】

1. むいだはき物は、きちんとそろえます。
2. 先生や地域の人に元気よくあいさつします。
3. 先生や地域の人にはていねいな言葉づかいをします。
4. 学習の準備をしっかりとします。
5. ノートやプリント、学習のふりかえりなど、ていねいな字で書きます。
6. あとかたづけをきちんとします。
7. よく考えて、自分のための自分の勉強にとりくみます。

\*会場 各小学校近隣の公共施設 5会場

\*講師数 34名

\*近年の参加児童数の推移（年間の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
令和元年度	39	53	120	212
令和2年度	59	37	80	176
令和3年度	69	85	75	229

## 評価

これまでの確実な取組が積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

### ・満足度調査

児童：満足 96%      やや満足 4%      やや不満・不満 0%

保護者：満足 96%      やや満足 3%      やや不満・不満 1%

児童の習い事の関係で行きたくてもいけないという声を聞きました。参加申し込みをしていただき、来れるときに来ていただくようにしています。

講師として参加していただいている地域人材の確保が難しい状況です。教員志望の大学生や退職教員に声をかけて、講師を確実に確保することが重要です。

## ◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,922千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を重要な領域と位置づけ、すべての教育活動を通して取組を充実させていくことが大切であると考えます。

昨今、自己存在感の低さやコミュニケーション能力の未熟さなどから、人間関係づくりに困り感を抱えている児童生徒が増加しています。そのことがいじめ等の生徒指導上の諸問題の発生や登校しぶり、不登校児童生徒の増加といった課題の要因の一つにもなっています。より良い学校生活と友達づくりのためのQUアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し、その結果分析をもとに居場所づくり、絆づくりを推進することで、心の教育の更なる充実を図ります。

\*目的      一人一人の児童生徒の内面をつかむためにQUアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

\*対象学年      小学校4年生～中学校3年生全員

\*実施回数      年間2回（6月・11月）

\*実績      「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
令和元年度	41 %	50 %
令和2年度	47 %	57 %
令和3年度	60 %	61 %

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
令和元年度	60 %	64 %
令和2年度	63 %	66 %
令和3年度	65 %	66 %

## 評価

QU アンケートの結果は学級集団の状況把握、困り感を抱えた児童生徒の把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。過去3年の推移を見ますと「親和的な学級」の割合については近年上昇傾向にあり、各校での取組の成果が少しずつ現れていると捉えています。

本市においても、不登校は小中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。不登校の課題改善に向けては未然防止、早期対応、個別の支援の3本の柱で取組を充実させていく必要があります。QU アンケートはその取組を支える重要な情報となっています。いじめ問題・不登校等の課題の改善に向けて、今後も有効活用していきたいと考えます。



### 3 教育支援の充実

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇特別支援教育支援員配置事業（50,000千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や周囲の児童生徒の学びやすさ、居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

##### \*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成27年度	21	5	26
平成28年度	20	8	28
平成29年度	23	8	31
平成30年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27
令和2年度	21	9	30
令和3年度	26	7	33

#### 評価

特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。

市教育センター、市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視しています。月に1回、市の関係課も交えての情報交換会があります。

特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。例年、年間2回の研修会を開催しています。第1回については市教育センターの相談員が各校へ訪問し、支援員の役割等について懇談を行う機会を設けました。小集団で発達障害を抱える子どもの特性や特別支援教育支援員としての役割について学ぶことができ、支援員からは好評でした。

また、9月には教育センター相談員による適切な児童生徒の支援に向けたポイントについての講話や各校での支援の現状についての情報交換を行う全体会を開き、より有効な支援への理解を深めました。

市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定しています。

特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保が難しい現状があります。

#### 4 コミュニティ・スクール事業 (2,555 千円)

##### 令和3年度の主な取組

能美市の強みである「地域の力」を学校運営に生かすために、組織的で計画的・持続可能な教育活動の一層の充実を目指して、全11小中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」をめざしてコミュニティ・スクールに取り組んでいます。

令和2年度には中学校にも学校運営協議会を設置し、能美市全11小中学校で「地域とともにある学校づくり」を展開しています。

学校運営協議会では、こんな子どもに育てたいという願いを学校と地域が共有し「子どもの成長のために何ができるか」を協議します。そして地域全体で「学びの充実」と「ふるさと愛の醸成」に向けて連携・協働して、授業や教育活動などの学校運営に参画しながら学校や子どもたちを応援しています。

##### 【学校運営協議会のめあて】

###### ◆学校のパートナー

学校や子どもの様子、学校のニーズを受け止め「どのように支援するのか、どのように課題を解決したらよいか」と目標に向かって連携・協働していくことで学校を支えます。

###### ◆地域の教育力の活用

地域住民が教育活動に参画して、子どもたちの「社会で生きる力」「学ぶ楽しさ」の向上につなげます。また、教職員が子どもと向き合う時間の確保にもつなげます。

###### ◆地域と学校のかけはし

学校運営協議会が学校と地域をつなげる役割をします。学校と一体になって、組織的で持続可能な「地域とともにある学校づくり」を推進します。

###### ◆ふるさと愛の醸成

地域住民が関わる教育活動を計画的・継続的に行うことで、子ども達が地域の人とふれあい、挨拶やマナー、思いやり等の人とかかわる力や知識や技能を身に付け、地域の一人であることを自覚し、「ふるさと能美市を愛する心」をもつことにつなげます。

##### 評価

朝の検温などに地域住民・保護者が支援を行い、学校の負担軽減を図りました。学習では密を避け、複数教室を使ったり回数を増やしたりして多くのサポーターが参画しました。中学校では体験や講話の講師紹介や新たな職場とのつながりなど、地域と学校をつなげる役割をしました。各学校の学校運営協議会へのニーズが高まり、多くのサポーターが学校の教育活動に参画し、心のふれあいや人とのぬくもりを感じる学びを展開しました。

各学校運営協議会代表が集まる場を持ち、少人数ながら全国の研修大会へのオンライン参加や情報交換会などを行い、最新の情報や先進地域の進んだ取組を実感するとともに、委員の見識を高める工夫を進めました。

6年児童のアンケートでは「地域の方がいろいろなことを教えて下さったので、私も人にやさしく教えられたらいい」「地域の方に守られている」「地域の方は温かい、優しい、地

域の伝統を大切にしている」という声が多く聞かれました。

課題としては、学校から多角的なニーズが求められ多くの方にサポーターとして活動いただくために、さらに地域とのネットワークを広め、深める必要があります。

## 5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～（456千円）

### 令和3年度の主な取組

能美市内3中学校では、将来の夢や目標を持ち、その実現に向かって努力を積み重ねる生徒の育成を目指して、1年生時に様々な職業に就かれている方々から仕事に関することやこれまでの体験談を聴き、広く職業について知り、社会に対する志を持つ学習に取り組んでいます。

そこで、令和3年度から多方面で活躍されている能美市出身の方の講演を通して、先輩の活躍に触れることで生徒が刺激を受け、働くことの意義や目標をもって努力することの大切さを知り、これから夢や目標をもって自分の進路を主体的に考える機会として、「ようこそ先輩」の講演会を開催しました。

対 象：市内中学校1年生

日 時：令和4年2月7日（月）14：00～

場 所：【講演会場】寺井中学校（体育館）2クラス

【オンライン】根上中学校4クラス、辰口中学校5クラス、寺井中学校4クラス

講 師：中日本高速道路株式会社【NEXCO中日本】

代表取締役 増田 優一 氏（寺井中学校出身）

演 題：「私たちの暮らしと 社会のこれからの考えてみよう」

コロナ禍の中で、オンラインなどの感染対策を講じて実施しました。

### 評価

中学1年生の生徒に自分の失敗談やユーモアを交え、分かりやすいお言葉で話されており、生徒たちも食い入るように聞いていました。夢を持つヒントや失敗は始まりであること、失敗しても負けない精神力をもってコツコツ努力すること、人生は何回もやり直せること、自分を信じてあきらめないこと、柔軟に変化を楽しむこと、変化はチャンスであることなど、多くの教えが生徒たちの心に刻まれ、今後の励みとなり、これからの進路を考えるとときの指標になりました。

#### \*生徒の感想

自分は今、陸上部に入って、かつての増田さんと同じように陸上選手をめざしていますが、お話にもあったような偶然の道や自分自身への不安で将来が怖くなることがあります。でも、今日のお話の「そこからどれだけ自分を信じられるか」という言葉をお聞きし、やってみよう！！という気持ちになることができました。これからは今日のお話のように自分に自信をもって生活していきたいなと思いました。

お話を聴いて、僕はやらないといけないと思って勉強をしたり挨拶をしたりしていたけど、そうではなく自ら学んだり、自分から主体的に行動することが大事だとわかりました。また、自分はまだ中学生で、社会の問題とはほとんど関係がないと思っていたけど、それらを解決するのは自分たちになるということがわかり、少し自覚ができました。そして、

なりたい姿をイメージする夢をもってそれに向かってコツコツ努力することが大事ということが印象に残りました。

この講演を聞く前は、「どうせ道德みたいなことをいうのかな。」と思っていたけど、最後まで聞いた時に自分を信じることはほんとに大切だと思ったし、大きな夢を持ちたくなりました。イチロー選手の言葉の「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」という言葉が個人的にすごく心に残ったし、大切にしていきたいことだと思いました。私も増田さんのような努力を重ねる人になりたいと思いました。

#### 4 教育環境の整備充実

##### 令和3年度の主な取組

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

学校施設の安全性と機能向上を目指し、老朽化に対応した改修工事、施設整備に必要な実施設計等を実施しました。

- ◇浜小学校施設整備事業 3,315千円  
(玄関庇防水改修、非常階段塗装改修)
- ◇福岡小学校施設整備事業 1,353千円  
(複合遊具改修、保健室床改修)
- ◇寺井小学校施設整備事業 1,177千円  
(ガス保管庫扉改修、排煙オペレーター取替)
- ◇湯野小学校施設整備事業 5,060千円  
(湯野小学校冷温水発生機修繕、自動火災報知設備更新)
- ◇粟生小学校施設整備事業 3,779千円  
(運動場南側フェンス改修、保健室戸棚取替、駐車場整備工事(電気))
- ◇辰口中央小学校施設整備事業 6,971千円  
(自動火災報知設備更新、給食配膳室空調設置)
- ◇宮竹小学校施設整備事業 5,940千円  
(プール目隠しフェンス設置、グラウンド屋外トイレ扉設置)
- ◇和気小学校施設整備事業 10,051千円  
(放送設備更新、外壁補修、駐車場測量設計業務)
- ◇根上中学校施設整備事業 4,488千円  
(ダムウェーター修繕、部室建具改修)
- ◇寺井中学校施設整備事業 1,459千円  
(保健室空調機設置、テニスコートフェンス改修)
- ◇辰口中学校施設整備事業 5,533千円  
(少人数教室・多目的教室空調設置、給食配膳室空調設置)

##### 評価

市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から40年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。

令和3年度は湯野小学校と辰口中央小学校の自動火災報知機の更新、辰口中学校の少人数教室・多目的教室の個別空調整備など、教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を実施しました。

## 施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

### 1 青少年教育

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇ 青少年健全育成事業（366千円）

- ・ 各種会議
  - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
  - ◇ 夏休み期間中、九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施  
令和3年度は根上り七夕まつり、辰口まつりは中止、九谷茶碗まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からパトロールを中止しました
- ・ あいさつ
  - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集  
420作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（7名）】  
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

##### ◇ 心の教育関連事業（239千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
  - ◇ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
  - ◇ 8月31日(火)～9月6日(月)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約1,600人が街頭に立つ）
  - ◇ あいさつデー啓発ポスターは辰口中学校1年 西出 茉琴さんの作品を採用

#### 評価

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小中学生の規範意識を高めています。15日以外にも自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

例年、能美市のお祭り（九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中にパトロールを実施しています。時間帯の変更や人数の見直しを検討しつつ、今後もパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

更なる子どもの健全育成のため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながらいきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。

### 施策3 生涯学習の推進

#### 1 生涯学習活動

##### 令和3年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2022 (127 千円)

日 時 令和4年2月13日 (日)

会 場 根上総合文化会館、根上学習センター、寺井地区公民館、能美ふるさとミュージアム

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

##### 評価

◇まなびフェスタ 2022

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としましたが、市民の学びの場や各種地域活動への参画、地域の方々との交流を促進する機会場の場となっていくことを期待します。



## 2 公民館活動の推進

### 令和3年度の主な取組

#### ◇成人式(4,433千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として3会場に分け開催しました。

開催日 令和4年1月9日(日)

会場 根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館

時間 10時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	76人	87人	87.4%
	女	83人	95人	87.4%
寺井	男	105人	126人	83.3%
	女	79人	100人	79.0%
辰口	男	73人	93人	78.5%
	女	77人	86人	89.5%
計	男	254人	306人	83.0%
	女	239人	281人	85.1%

#### ◇総合文化祭

〈展示部門〉(160千円)

日程 文化協会：令和3年10月29日(金)～10月31日(日)

一般展示：令和3年11月5日(金)～11月7日(日)

会場 文化協会：根上総合文化会館、根上学習センター

一般展示：根上総合文化会館

内容 展示を2週に分けて実施しています。1週目は生け花、川柳などの市文化協会の作品。2週目は地区公民館、コミュニティーセンター、児童館、そのほか各教室、サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(68千円)

○ジュニア文化発表会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

○文化協会合同公演

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

○市民文化・芸能大会

日程 令和3年11月6日(土)

会場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活動しているサークル・団体がこの日のために練習してきた演目を披露しました。

◇自治公民館施設整備事業（新型コロナ対策）（2,683千円）

能美市自治公民館等施設整備等補助金交付要綱において、感染症対策に要する事業に対し補助をしております。空気清浄機の購入、自動水栓化にかかる費用に対して購入額の一部を補助しました。16町会・町内会が補助を活用しました。

◇地区公民館・自治公民館協議会の活動（6,575千円）

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
5月16日	第17回スポーツフェスティバル in ねあがり(中止)	浜小学校グラウンド
6月上旬	花いっぱい運動	根上地区各町会
5月10日～	ペン習字講座(10回)	根上学習センター
6月19日～	パソコン講座(3講座各7回、2講座各3回)	寺井地区公民館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月11日	各種教養講座・趣味の教室(9講座を開講)	寺井地区公民館
5月11日～	自然観察講座(6回うち3回中止)	観音山、憩いの森、七ツ滝
6月20日	寺井地区グラウンドゴルフ大会(中止)	寺井グラウンドゴルフ場
7月11日	寺井地区クリーンデー(中止)	寺井地区一円
10月3日	スポーツフェスティバル in てらい(中止)	寺井小グラウンド
10月10日	寺井地区一周駅伝大会(中止) 寺井地区ソフトバレーボール大会(中止)	寺井地区一円 寺井体育館
12月10日～ 12日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
3月12日	しいたけの植菌体験(中止)	寺井地区公民館
6月19日	能美市でホタルを見よう!「ホタルの観察会」(中止)	能美ふるさとミュージアム
8月4日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」(中止)	能美ふるさとミュージアム
10月3日	スポーツフェスティバル in たつのくち(中止)	物見山陸上競技場

○自治公民館協議会（令和3年1月～12月）

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月17日	市協議会役員会、監査会	寺井地区公民館
2月26日	市協議会総会（書面表決に変更）	寺井地区公民館
6月	春季視察研修会（中止）	
6月18日	市協議会役員会	寺井地区公民館
11月13日	秋季研修会：能美市防災センター 44名参加	能美市防災センター

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月22日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月10日	根上地区総会（書面表決に変更）	根上総合文化会館
3月17日	スポーツフェスティバル企画運営委員会	根上総合文化会館
3月25日	スポーツフェスティバル実行委員会	根上総合文化会館
4月7日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月16日	第17回スポーツフェスティバル in ねあがり （中止）	浜小学校グラウンド
6月上旬	花いっぱい運動	根上地区各町会
7月17日～ 18日	根上り七夕まつり 踊りの夕べ（中止）	根上総合文化会館
11月13日	秋季研修会：能美市防災センター 11名参加	能美市防災センター
12月15日	根上地区役員会	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月21日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月5日	寺井地区総会（書面表決に変更）	寺井地区公民館
6月20日	グラウンドゴルフ大会（地区公民館と共催）（中止）	寺井グラウンドゴルフ場
7月11日	寺井地区クリーンデー（中止）	寺井地区一円
7月16日	自治公民館協議会館長会	寺井地区公民館
7月28日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
10月3日	スポーツフェスティバル in てらい（中止）	寺井小学校グラウンド
10月10日	寺井地区一周駅伝大会（中止） 寺井地区ソフトバレーボール大会（中止）	寺井地区一円 寺井体育館
11月6日	市民文化芸能大会（寺井地区 参加なし）	根上総合文化会館
11月13日	秋季研修会：能美市防災センター 12名参加	能美市防災センター

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月22日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
2月13日	辰口地区自治公民館協議会総会	辰口福祉会館
7月上旬	辰口地区役員会3地区合同での春季研修会（中止）	辰口福祉会館
7月18日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
11月13日	秋季研修会：能美市防災センター 18名参加	能美市防災センター
12月12日	辰口地区監査会	寺井地区公民館

**評価**

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいます。色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に隔たりが見られることも事実です。

今後の課題として、地区の地域性があることも事実ですが、3地区の一体化も十分精査し検討していく必要があると思われます。

○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。3地区とも地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあります。特に辰口地区では世帯数が20に満たない町会から1,000を超す町会があります。

令和3年度、自治公民館協議会としての活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんど中止せざるを得ない状況となりました。今後の事業の取組内容もコロナ対策を十分検討したうえで、できる限り地域住民の交流を図れる事業内容に考えていく必要があると思われます。

また、各地区では年々議論される自治公民館協議会の役員選出が難しくなっています。今後、地区公民館を中心に自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位あるいは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を元気にしていくことが重要だと思われます。

### 3 社会教育施設の運営

◇市立図書館（134,334千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

#### 令和3年度の主な取組

##### ○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。  
（根上図書館：ビジネス書、寺井図書館：美術資料、辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

##### ◎利用状況（令和4年3月末統計）

- ・蔵書数：426,851冊
- ・人口：49,531人（令和4年3月31日現在）
- ・登録者数：35,596人
- ・登録率（市民）：49.2%
- ・貸出者数：93,087人
- ・市民一人当たりの貸出冊数：6.4冊
- ・貸出冊数：426,373冊
- ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）：1.0回

##### ○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

##### ◎講座・講演

- ・短歌講座
- ・まちづくり出前講座

##### ◎年代に応じた児童サービス

- ・ブックスタート
- ・保育園や児童館などへの出前おはなし会
- ・乳幼児向けのおはなし会
- ・えいごであそぼう（幼児向け）
- ・読書スタンプラリー

##### ◎年齢別図書リストを作成

- ・0歳から3歳児向け「えほんのじかんだよ」
- ・小学生向け「にじいろぼっけ」

##### ◎保育園・小中学校との連携事業

- ・小中学校へのブックトーク
- ・保育園や小中学校への移動文庫
- ・小学一年生の図書館招待

##### ◎第3次能美市子ども読書活動推進計画（令和2年度～令和6年度）の具現化

- 関係機関や各種団体との連携事業
  - ◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携
  - ◎関係機関と連携した展示の実施
    - 健康推進課「子どもの健康」「自殺防止」・地域振興課「男女共同参画」のみ商業共同組合「のみまちゼミ講座」
- 啓発・広報事業
  - ・能美市広報誌の図書館コーナー（月1回）・図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、SNSを活用した情報発信を実施しました。
- 職員研修
  - ・職員の専門的力量的向上を図るため職員研修を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、代表者1名が参加する伝達研修としました。
  - ・令和4年2月17日（木）読書バリアフリー体制強化研修
- 安心・安全な図書館利用への対応
  - ・令和3年6月14日（月）より、3館とも17時閉館としていた時短開館を通常の開館時間に戻しました。
  - 【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】  
館内の換気、サーモカメラ・除菌液の設置、館内除菌清掃、図書の消毒、カウンターにアクリル板の設置、閲覧席の使用制限、AVルームなどの閉鎖など

## 評価

図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を計画しました。中止していた事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をして実施し、図書館利用状況は新型コロナウイルス感染症拡大以前に戻りつつあります。

コロナ禍の中で、多様な市民の読書要求に応え読書環境を整えるため、資料提供事業に重点を置き、在架資料についてもインターネットからの予約可能としました。また、県内外図書館との相互利用を活用し、利用者への資料提供に努めました。

登録者については、令和3年度末に10年未利用者（11,280人）を削除し、不要な個人情報を整理しました。また、登録者の有効期限を3年とし、正しい情報での利用推進への整備を進めました。

#### ◇根上学習センター（52,799千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会、研修会、サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など、多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

#### 令和3年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業の計画を立てて準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催事業の規模を縮小しました。

- 1 保育園園児を対象にした根上図書館との共催による「プラっとお話」、一般市民を対象にした能美星の会会員が講師となるプラネタリウムを活用した星空教室、望遠鏡を使った星空観察会、プラネタリウムの定時投影は規模を縮小しました。また、天文情報をお知らせするチラシを作成し、館内に設置しました。
- 2 小学生対象のおもしろ科学工作教室、ガリレオクラブ、JAXAの協力によるコズミックカレッジ等の教室、宇宙や科学をより身近に体験する機会としての「サイエンスフェスタ'21」は、身の周りの不思議に気づき・発見し・探究する場として計画しました。今年度は募集人数を減らして実施しました。
- 3 パネルなどを展示し広く宇宙や科学に興味・関心を持っていただくための企画展は、開催日を限定して実施しました。
- 4 研修室や学習室は、各室の定員を減らし、利用者の手指の消毒・検温、利用後の清掃・消毒等の措置をとって各種団体の利用を進めてきました。

#### 評価

施設の研修室や学習室は、市民の交流の場や生涯学習の場として各種団体等に日常的に使用されており、今後も能美市の生涯学習施設として活用されるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、施設の運営・管理及び各事業の実施に努めていきます。

事業内容については、子どもたちの科学や宇宙への興味・関心を高められるように内容を工夫していきます。さらに、指導者の確保による内容の充実に努め、能美市における科学教育の推進に繋げることで、移住、定住の促進につながる魅力ある能美市づくりに貢献していきます。

◇根上総合文化会館（94,626千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市や市教育委員会の主催事業をはじめ、さまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（令和3年度）

年間利用件数	1,715件	（令和2年度	1,302件）
年間利用者数	39,209人	（令和2年度	21,365人）

評価

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。さらに、能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの主催事業・他団体の利用が中止や延期となりました。「能美市アットホームタウンフェスティバル」は、能美市ファミリーコンサートのみの開催となりました。

また、根上総合文化会館も開館して27年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫を行っています。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

◇青少年ホーム（2,353千円）

老朽化がすすみ利用者が減少したことに伴い、令和4年3月末で廃止しました。

評価

近年、施設の老朽化が進んでおり、現状の維持に努めながら市民の学習活動の場としての活用を図ってきましたが、施設の統廃合に伴い廃止することになりました。



## 施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

### 1 文化財の保存と活用

#### 令和3年度の主な取組

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・65,893千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の保存整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の発掘調査、保存整備工事実施設計、保存整備工事、末寺山古墳群の法面保護工事などを行いました。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（単独・継続事業・35,052千円）

能美古墳群の環境整備として、和田山古墳群、末寺山古墳群の樹木伐採や低木剪定、秋常山古墳群の法面除草を行い、景観、環境の向上に努めました。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・4,040千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（考古資料）西山古墳群出土品の保存処理などを行いました。

◇文化財保存修理事業（単独・継続事業・5,122千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財史跡根上松、天然記念物ハマナス群落に案内板や説明板を設置しました。

#### 評価

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助）

西山古墳群の保存整備工事に着手し、公開活用に向けて事業を進捗させることができました。また、発掘調査及び整備工事実施設計を行ったことで、今後の保存整備工事に向けた準備を進めることができました。さらに、末寺山古墳群の法面保護工事を行い、今年度で工事が完了したことで、住民の安全な暮らしと史跡の保護を確保することができました。

今後は、西山古墳群の実施設計と発掘調査を進めていくとともに、保存整備工事を着実に実施していく必要があります。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（単独）

和田山古墳群、末寺山古墳群の樹木伐採や低木剪定、秋常山古墳群の法面除草を行ったことで、史跡公園の来園者がより快適かつ便利に古墳見学ができるようになりました。

今後は、統一的な案内板や説明板、案内ルートなどを設置し、イベントなども企画することで、一体的な史跡としての更なる活用を図っていく必要があります。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業

出土品の保存処理を行うことで、より適切な保存処置が図られるようになり、学術的にも新たな知見を得ることができました。

今後は、この成果をどのように市民へ伝えていくか、能美ふるさとミュージアムでの展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。

◇文化財保存修理事業

市指定文化財史跡根上松、天然記念物ハマナス群落に案内板や説明板を設置したことで、来園者の利便性が向上し、快適に散策ができるようになりました。

今後は、他の指定文化財の案内板設置や説明板の更新を行い、更なる活用を図っていく必要があります。

## 2 博物館の活動

◇教育・普及活動及び開館記念・賑わい創出事業 (13,446 千円)

### 展示

展示名	期日	概要
のみふるミニ展示 端午の節句展	4月13日(火)～ 5月30日(日)	昭和の武者飾りをエントランスホールに展示
能美市写真協会 写真展	5月21日(金)～ 5月30日(日)	能美市写真協会の会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
のみふるミニ展示 石川を駆け抜けた聖なる火	7月14日(水)～ 9月5日(日)	昭和39年の東京五輪関連の資料をエントランスホールに展示
夏季企画展「能美・夏ものがたり～太郎くんの夏休み～」	7月22日(木・祝) ～8月29日(日)	昭和30年代の能美の夏の暮らしを、再現した当時の民家や駄菓子屋、実物民具等で紹介
のみふるミニ展示 昭和の音楽蓄音機とSPレコード	9月7日(火)～ 9月19日(日)	昭和30年頃まで広く使われてきた収蔵品の蓄音機とSPレコードを紹介
秋季企画展「能美の石碑ものがたり」	9月14日(火)～ 11月7日(日)	能美郷土史の会が平成30年から4年間かけて市内300か所以上の石碑を調査した成果をパネル展示
開館一周年記念展 能美・小松2市連携企画展「能美・小松 古墳発掘の始まり」	10月16日(土)～ 12月12日(日)	昭和20年代までさかのぼる能美・小松に分布する古墳の発掘調査の歩みを、京都国立博物館所蔵の六鈴鏡などを展示し紹介
辰口絵画クラブ展	11月18日(木)～ 11月27日(土)	辰口絵画クラブ会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
ぼくらの街フェス in 能美	12月1日(水)～ 12月10日(金)	市内障害福祉事業所に通う方々の作品をミュージアムギャラリーにて展示
のみふる館蔵品展「フィルムカメラの世界」	12月18日(土)～ 1月30日(日)	本館が所蔵するフィルムカメラ約30点を展示
新春特別展「中世能美」	1月12日(水)～ 3月6日(日)	市内出土の柿経や五輪塔、室町中期の太刀「清光」などを展示し、中世能美の様相を紹介
ミニ企画展「ひなまつりに飾られたもの」	3月2日(水)～ 4月3日(日)	大正時代の雛飾りや金華糖の型などを展示

イベントなど

講座・イベント名	期日	概要
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	7月～1月 第2土曜日 計6回開催	講師：高 剋法、高 文子 (日本野鳥の会石川県支部 幹事) 合計 60 名参加
九谷焼ウルトラマンシリーズ新作お披露目会 (体験棟)	5月2日 (日)	新作3体の登場を記念して、九谷焼作家の福島 武山氏、武腰 潤氏、山田 義明氏が絵付けした3体のお披露目会を3名の方出席のもと開催
七夕飾り体験 (体験棟)	6月19日 (土) ～ 7月11日 (日)	短冊を飾り付けることのできる七夕を設置
夏季企画展関連イベント「昔遊びをしてみよう」	7月24日 (土) ～ 8月29日 (日)	子どもたちがコマや剣玉、おはじきなどの昔遊びを体験
夏季企画展関連イベント「水鉄砲・紙鉄砲を作ろう」	8月7日 (土) ～ 8月8日 (日)	昔ながらの竹製の水鉄砲・紙鉄砲を製作し、的当て大会を開催
能美ふるさとミュージアム 賑わい創出イベント「のみふる なつまつり」	8月9日 (月・祝)	能美ブランドの千本釣りや能美市産野菜釣り、お絵描き水族館など子ども向けイベントを開催
開館1周年記念「のみふる古墳まつり」	10月16日 (土) ～ 10月17日 (日)	開館1周年を記念し、古代体験や能美市観光大使の演奏会、古墳儀礼の再現など様々な催しを実施
能美ふるさとミュージアム 賑わい創出イベント「のみふるクリスマス」	12月12日 (日)	クリスマスツリー展示やオーナメントづくり、カレンダーづくり、九谷ぬり絵コンテスト表彰式など

団体見学の受け入れ

市内小学校	・・・	30校	児童	1,544名
市内中学校	・・・	3校	生徒	401名
市内保育園	・・・	18園	園児	509名
市外小学校	・・・	10校	児童	587名
市外中学校	・・・	3校	生徒	135名
市外大学	・・・	1校	児童	18名
その他教育団体	・・・	2団体		28名

## 出前講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止（実績なし）

## 能美ふるさとミュージアム友の会

総会…令和3年4月21日（書面総会）

会報…『のみふる便り』を2回発行

研修会…第1回 令和3年7月17日「辰口の自然探検 part1」

講師：元博物館学芸員 山内 千之

第2回 令和3年11月11日「西山古墳群の発掘調査現場等の見学」

講師：学芸員 知田 真衣子

第3回 令和3年1月25日、27日「新春特別展『中世能美』展示解説」

講師：学芸員 鎌田 康平

## ボランティア活動

蟹淵卵塊調査 6月～7月 9回実施

## ◇調査・収集・記録事業（338千円）

### ○生物生息調査

- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（6月～9月）
- ・蟹淵水質モニタリング調査など（4月～令和4年3月）

## 評価

令和3年度の能美ふるさとミュージアムは、開館から初めての1年を通しての運営となりました。開館一周年記念展や新春特別展に加え、夏季・秋季の企画展や館蔵品展を開催し、積極的に能美市の自然、歴史、民俗の魅力発信に努めました。特に、開館一周年記念展では、能美ふるさとミュージアムが隣接する和田山古墳群の和田山1・2号墳からの出土品が京都国立博物館から里帰りして展示されるなど、貴重な資料を多く展示し注目を集めました。また、夏季企画展では昭和30年代の民家や駄菓子屋を再現しました。ノスタルジックな空間の中で体感的に当時の夏の暮らしの工夫を知ることができ、大人から子どもまで楽しめる展示として好評を得ました。

さらに、少しでも多くの方にご来館いただくため、「能美ふるさとミュージアム賑わい創出イベント」と題して、様々な内容のイベントを開催しました。開館一周年記念となる「古墳まつり」では、古代体験などの古墳に関する企画だけでなく、観光大使のコンサートやウルトラマンショーなど、これまで博物館に興味のなかった層に来館してもらう企画も多く取り入れました。イベントの効果もあり、これまで博物館の利用者層として少なかった小さなお子様連れのご家族の来館が増えました。0歳～12歳までの子どもが保護者と一緒に能美の魅力に親しめる「子どもミュージアム のみつけ」の利用者も増加しています。

小中学校や保育園の団体見学利用も多くあり、それぞれの学年や学びの目的に応じた案内を行いました。小学校6年生では歴史学習、3年生では暮らしの移り変わりの学習として、市内ほぼ全ての小学校からの利用がありました。いずれも豊富な実物資料を見ながらの学習が好評で、市外からの利用もありました。

新型コロナウイルス感染症の影響から活動を休止していた能美ふるさとミュージアム友の会も、研修会やボランティア活動などを再開しました。市内の自然探検や国指定史跡能美古墳群の一つである西山古墳群の発掘調査現場の見学、新春特別展の展示解説会など、能美市の魅力を改めて感じてもらえるような地域に密着した内容の活動を多く行いました。市内の自然環境はモニタリング調査などの結果から、大きく状況が悪化することなく環境が保たれていると思われます。今後も調査を継続し、適宜対応していきます。

イベントの開催や学校からの団体見学の効果で、未就学児～小学生の来館は比較的多く、その後のリピート利用もそのご家族などが多く見られます。今後は、現在の取組を維持しつつ、感染症拡大防止の観点から休止している一般団体の団体見学対応などを解禁し、より多くの年齢層や地域の方にご来館いただける工夫を行っていきます。

### 3 文化振興

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇文化連盟・協会（3,600千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計36協会。

##### ◇民俗芸能保存伝承（265千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計14団体。

#### 評価

文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。例年、文化祭や発表会などで市民の文化意識の向上を促進してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から発表の場の多くが中止や延期となりました。

市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会を設けることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第17号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行い、練習会やイベントで披露することで、伝統文化を守り伝えていきます。今後は、ウィズコロナを見据えた発表方法を考える必要があります。

## 施策5 スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

### 1 競技スポーツの充実・強化

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇県民体育大会への選手派遣（200千円）

宝達志水町を主会場に開催を予定していた「石川県民体育大会夏季大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。冬季大会は男子総合9位、女子総合7位となり、男子は昨年度に比べて4つ順位を上げ、女子は順位を2つ下げました。

##### ◇能美市民体育大会（107千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘、育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設（一部除く）で開催する予定であった能美市民体育大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、代替え大会を開催し、その運営補助を行いました。

##### ◇第46回全日本競歩能美大会（7,114千円）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して実施した今大会の運営費として補助を行いました。

「第16回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、また、ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都、オレゴン2022世界陸上競技選手権大会、杭州2022アジア競技大会）の日本代表選手選考競技会として開催されました。一般の部男女と高校生男女の部門を実施し、アジア陸上競技選手権の部と中学生の部は中止としました。

期 日 令和4年3月20日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース（往復1.0km）

##### ◇第64回全国銃剣道能美大会（100千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。



## 評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、夏季大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、冬季大会は男子総合9位・女子総合7位と健闘しました。次回大会は成績の向上を目指し取り組んで参ります。市民体育大会も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、13競技が代替え大会を開催しました。

全国銃剣道大会についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

全日本競歩能美大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からアジア選手権の部と中学生の部を中止とし、規模を縮小しての開催となりました。

次年度は全国銃剣道能美大会及び全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取り組みを実施し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

## 2 生涯スポーツの普及・振興

### 令和3年度の主な取組

#### ◇ジュニアスポーツクラブ活動 (2,840 千円)

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内 44 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携や交流、親睦を図るため、毎年リーダー研修やスポーツ交流大会などを開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

#### ◇高齢者健康クラブ活動 (656 千円)

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ 90 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。3 クラブのみならず、市外の健康クラブとも交流を図るため、毎年、県の交歓大会や普及育成研修会等に参加していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

#### ◇能美市スポーツ推進委員会 (894 千円)

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動を自粛しました。

### 評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動の制限やスポーツ交流大会の中止などを決定し、子どもたちの健康面を考慮した運営を行いました。今年度は残念ながら多くの事業を実施することができませんでしたが、役員と協力し、新たな方法での事業の実施に向けて取り組んでいきます。

高齢者健康クラブについては、会員同士の交流の機会となるよう、講師指導のもと、体操やダンスを行っております。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、毎年、石川県健康クラブ交歓大会に参加し、市内のクラブとも親睦を深めております。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会については、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施することができませんでしたが、その需要は年々高まりつつあり、子どもから高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいている委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

### 3 スポーツ施設の整備充実

#### 令和3年度の主な取組

##### ◇物見山陸上競技場改修工事

- ・ウレタン洗浄、トップコート工 A=5,848㎡
- ・ウレタン切削、オーバーレイ工 A=2,041㎡
- ・ウレタン舗装工 A=27.8㎡
- ・レーンマーキング N=一式 他

##### ◇寺井体育館改修工事

- ・外壁改修 A=2,325㎡
- ・アリーナ床改修 A=1,154㎡
- ・建具改修 N=一式
- ・電気設備改修 N=一式

##### ◇浜小学校夜間照明施設撤去工事

- ・夜間照明施設撤去 N=9基
- ・電気設備工事 N=一式

##### ◇辰口中学校夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明施設改修 N=9基
- ・夜間照明施設新設 N=2基

◇上記工事を含め40件の工事、10件の業務委託（実施設計・監理）、10件の備品購入を実施

◎改修等工事費総額 406,189千円

◎業務委託費総額 24,354千円

◎備品購入費総額 9,611千円

#### 評価

施設整備にあたっては、既存施設の活用を柱とし、ニーズの高い競技施設の計画的な整備、安全・安心・気軽に利用できるよう充実を図っています。

物見山陸上競技場改修工事は、5年間の日本陸連公認期間が終了することから、新たに公認に適合するようウレタン部の改修や増設等を行うとともに、不足や損傷のあった備品を購入することで、日本陸連より2種公認陸上競技場として継続認定されました。日本陸連の公認陸上競技場として継続認定されたことにより、県大会はもちろん、北信越等の地方大会を開催することが出来る他、通常の練習でも大会と同様のグラウンド・備品を使用できることで練習環境の充実が図られました。

指定避難所となる施設の災害時の避難場所や熱中症の予防など利用者の保護のための昨

年の物見山総合体育館の改修工事に続き、寺井体育館の改修工事を終え、各体育館の冷暖房設備の設置が完了しました。今年度は根上勤労者体育センターへの設置を予定していません。

トイレの洋式化についても同時に改修することで、気持ちよく使用してもらえるよう整備を行いました。

学校グラウンドの夜間照明施設の整備については、計画に沿って順次進めており、令和3年度は辰口中学校の夜間照明施設は9基をLEDに改修、2基増設、浜小学校9基の撤去工事を行いました。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思いをします。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議

11 回開催 (開催日及び審議決定事項 下表のとおり)

{ 議事 23 件 }

令和 3 年度教育委員会会議開催状況

回 (開催日)	審 議 決 定 事 項
令和 3 年第 4 回 (R3. 4. 22)	<p>議案第 11 号 能美市学校運営協議会委員の選任について</p> <p>議案第 12 号 能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員及び能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について</p> <p>報告第 2 号 能美市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局各課事務分担について</li> <li>・能美市教育大綱の策定について</li> <li>・新給食センターの整備について</li> <li>・令和 3 年度石川県市町教育委員会連合会定期総会について</li> <li>・令和 3 年度市内小中学校管理職・主任等一覧</li> <li>・令和 3 年度小中学校学年別人数・学級数</li> <li>・令和 2 年度小中学校教職員時間外勤務状況報告 (3 月状況)</li> <li>・令和 2 年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 (3 月状況)</li> <li>・令和 4 年度以降の成人式について</li> <li>・能美市スポーツ推進計画について</li> <li>・有森裕子氏スポーツ講演会及びレースウォーキングチャレンジ 2021 について</li> <li>・ひかりのナイトウォーキングについて</li> <li>・聖火リレーについて (交通規制チラシ配布について)</li> </ul>
令和 3 年第 5 回 (R3. 5. 27)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
令和 3 年第 6 回 (R3. 6. 24)	<p>議案第 13 号 専決処分の報告について</p> <p>令和 2 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 14 号 専決処分の報告について</p> <p>令和 3 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p>

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹校交流について <ul style="list-style-type: none"> <li>韓国・培材中学校受入事業（根上中学校）中止</li> <li>韓国・大徳中学校派遣事業（寺井中学校）中止</li> </ul> </li> <li>・能美市 GIGA スクール構想推進計画について</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（4.5月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（4.5月状況）</li> <li>・東京 2020 オリンピック聖火リレーについて</li> </ul>
令和3年第7回 (R3. 7. 29)	<p>議案第15号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県市町教育委員会セミナーについて</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（6月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（6月状況）</li> <li>・第40回加賀地区中学生意見発表大会について</li> <li>・ふれあいあいさつデー強化週間について</li> <li>・東京 2020 オリンピック競技大会 平田しおり選手（大成町）射撃競技出場について</li> </ul>
令和3年第8回 (R3. 8. 19)	<p>議案第16号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第17号 令和3年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（7月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7月状況）</li> <li>・令和4年度以降の成人式について</li> <li>・東京 2020 オリンピック出場選手の結果報告について</li> <li>・スポーツフェスティバル in たらい・たつのくちの中止について</li> </ul>
令和3年第9回 (R3. 9. 16)	<p>議案第18号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第19号 能美市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>報告第3号 損害賠償の額の決定及び和解の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県市町教育委員会連合会研究大会について（野々市市）</li> <li>・令和3年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書について</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（8月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（8月状況）</li> <li>・令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能美市立小中学校修学旅行・運動会の対応について</li> <li>・能美ふるさとミュージアム一周年記念イベントについて</li> <li>・令和4年度以降の成人式のあり方に関する提言書について</li> </ul>
令和3年第10回 (R3. 10. 21)	<p>議案第20号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について</li> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（9月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9月状況）</li> <li>・第15回能美市ファミリーコンサートについて</li> <li>・宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボールについて</li> </ul>
令和3年第11回 (R3. 11. 18)	<p>議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第22号 令和3年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（10月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10月状況）</li> <li>・令和4年成人式について</li> <li>・第58回歳末助け合い入札展について</li> </ul>
令和3年第12回 (R3. 12. 16)	<p>議案第23号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（11月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11月状況）</li> </ul> <p>報告第7号 能美市学習等供用施設の指定管理者の指定について 報告第8号 能美市コミュニティ施設の指定管理者の指定について</p>
令和4年第1回 (R4. 1. 20)	<p>議案第1号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（12月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12月状況）</li> <li>・能美市内小中学校 卒業式・入学式について</li> <li>・歳末助け合い入札展実績報告</li> <li>・令和4年能美市成人式参加者数の報告について</li> </ul>

<p>令和4年第2回 (R4. 2. 17)</p>	<p>議案第2号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について          議案第3号 要保護及び準要保護児童生徒の認定（新入学用品費          入学前支給）について          議案第4号 令和4年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要          求について          議案第5号 令和3年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要          求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（1月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（1月状況）</li> </ul>
<p>令和4年第3回 (R4. 3. 17)</p>	<p>議案第6号 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について          議案第7号 能美市根上勤労青少年ホーム管理運営規則を廃止す          る規則について          議案第8号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則          について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教職員時間外勤務状況報告（2月状況）</li> <li>・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2月状況）</li> <li>・令和3年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書</li> <li>・ふれあいあいさつデーについて</li> <li>・のみふる桜まつりについて</li> <li>・東京2020オリンピック表彰台レガシープロジェクトについて</li> </ul>



## 2 総合教育会議

年 月 日	議 題
R4. 2. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍における能美市立学校の現状と対策</li> <li>・ 令和3年度能美市におけるGIGAスクール構想推進の取組と今後の課題</li> <li>・ いしかわ百万石文化祭2023、加賀立国1200年、北陸新幹線県内全線開業を見据えた取組</li> </ul>

## 3 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
R3. 4. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 4. 22	第4回市教育委員会会議
R3. 5. 11	石川縣市町教育委員会代表者会
R3. 5. 11	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
R3. 5. 17	ふれあいあいさつデー
R3. 5. 27【中止】	第5回教育委員会会議
R3. 6. 14	浜小学校計画訪問
R3. 6. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 6. 18	粟生小学校計画訪問
R3. 6. 24	第6回市教育委員会会議
R3. 6. 29	湯野小学校計画訪問
R3. 7. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 7. 29	第7回市教育委員会会議
R3. 7. 30	石川縣市町教育委員会セミナー
R3. 8. 19	第8回市教育委員会会議
R3. 8. 31～	ふれあいあいさつデー強化週間
R3. 9. 10	寺井中学校計画訪問
R3. 9. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 9. 15	辰口中央小学校計画訪問
R3. 9. 16	第9回市教育委員会会議
R3. 9. 28	宮竹小学校計画訪問
R3. 10. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 10. 15	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（野々市市）
R3. 10. 20	辰口中学校計画訪問
R3. 10. 21	第10回市教育委員会会議
R3. 10. 25	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（加賀市）

R3. 10. 29	福岡小学校計画訪問
R3. 11. 3	能美市表彰式
R3. 11. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 11. 18	第 11 回市教育委員会会議
R3. 11. 22	第 46 回全日本競歩能美大会実行委員会
R3. 11. 30	寺井小学校計画訪問
R3. 12. 15	ふれあいあいさつデー
R3. 12. 16	第 12 回市教育委員会会議
R4. 1. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 1. 20	第 1 回市教育委員会会議
R4. 2. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 2. 17	第 2 回教育委員会会議
R4. 3. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 3. 17	第 3 回教育委員会会議

#### 評 価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き、多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

能美市の報告書を拝見するようになって、今年で3年目になります。1年目はちょうど新型コロナウイルスの蔓延が始まった年に、始まる前の活動報告を拝見しました。実際に活動を見てみたいものだと思いますが、令和2年度の厳しい状況を想像しておりましたが、その頃はまだ、令和3年度にはなんとかもとに戻るとは思いませんでした。しかし、令和2～3年度は他の地域と同様に大変な年となりました。しかし、そのような中でも学校が果たしてきた役割を皆が再確認し、学校への保護者、地域の方々の協力が見られていることは今後への期待が持てることだったのではないかと感じています。また社会教育でも、例えば、図書館がもとに戻りつつあると同時に、コロナ禍ならではの役割を考えられたりしています。他の施設等も令和3年度には対面での活動をなんとか少しでも取り戻そうとされたことが伺われます。勿論、中止となったものもありますが、開催を目指された努力は関係者のみなさんにとって互いに励ましになったことと思います。

そのようなコロナ禍で顕在化した、教育にかかわる事柄がいくつかあります。例えば、子どもたちの学びの貧困がクローズアップされました。その背景には大人たちの経済的な貧困があったり、家庭内でのマンパワーや文化資本の脆弱さがあったりします。それはまた、次の貧困をもたらす場合があります。能美市でも、これまでも対応されてきていますが、そこに注目し、状況を認識し、理解してくれる人が増えることは、社会全体の眼差しをかえることに繋がるに違いありません。すでに少しずつつながっているかもしれません。そのような問題だけではなく、様々な状況で困っている子どもたちにとって何が必要で実効性があるのかを考え、今後とも伝えてくださると良いと思います。

また、学校教育について言えば、全国的にも教員志望者が減っているという状況を一つの背景として教員の働き方改革が求められたり、少子化の影響による部活動の維持が困難となってきたり、学校を取り巻く状況が変化してきております。報告書を拝見すると、様々な活動できめ細やかに子どもたちのサポートをしていることがわかります。その一方で、サポート人材の確保が課題ともなっております。このような状況に対しても地域の理解を醸成することは喫緊の課題ではないかと思えます。また、新型コロナウイルスの影響の全容はまだ見えていませんが、青少年の、自分とは違った背景や価値観を持つ人との直接的な人間関係で促進されるであろう側面の成長への影響が心配されています。これはあるいは杞憂かもしれませんが、大人社会は見守っていく必要があるように思えます。これは当然ながら、学校教育、社会教育の両方で対応していくことかと思えます。

第三に、オンライン教育の普及です。全国的にオンライン研修が定着している感がありますが、能美市も例外ではなく、取り入れています。住民が学ぼうとする時もオンラインで様々なことが学べるようになっていきます。これは学びの機会の拡大という点で、大変素晴らしい変化と言えるでしょう。一方で、インターネット上での情報は玉石混交の側面が

あり、情報の判断は難しくなりそうです。そのような際に、学習相談も有効でしょうし、判断の元となる感性を磨くことも必要ではないでしょうか。それもまた、地域の中で育てる面があるように思いますが、全国的に地縁をベースとしたコミュニティの維持は年々難しくなっているように思います。その点、能美市はまだまだその力があるように思えますので、そのポテンシャルを生かした活動を継続していただきたいと思っております。

令和3年度を振り返ると夏に東京オリンピックがあり、冬には北京オリンピックがありましたが、この報告書を拝見している令和4年末にはすでにやや遠い記憶になっております。それくらい新型コロナウイルスのニュースを日々チェックし、対応を考える時間は教育関係者にとっても緊張を伴い悩ましい時間でもありました。すでに令和5年度のことを考え始めておりますが、能美市の教育も少しずつ変化して、発展していくことと思います。